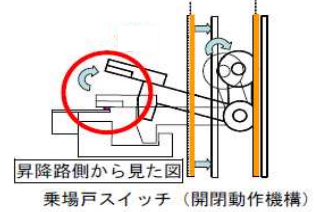
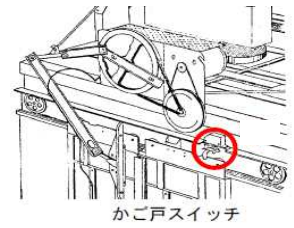
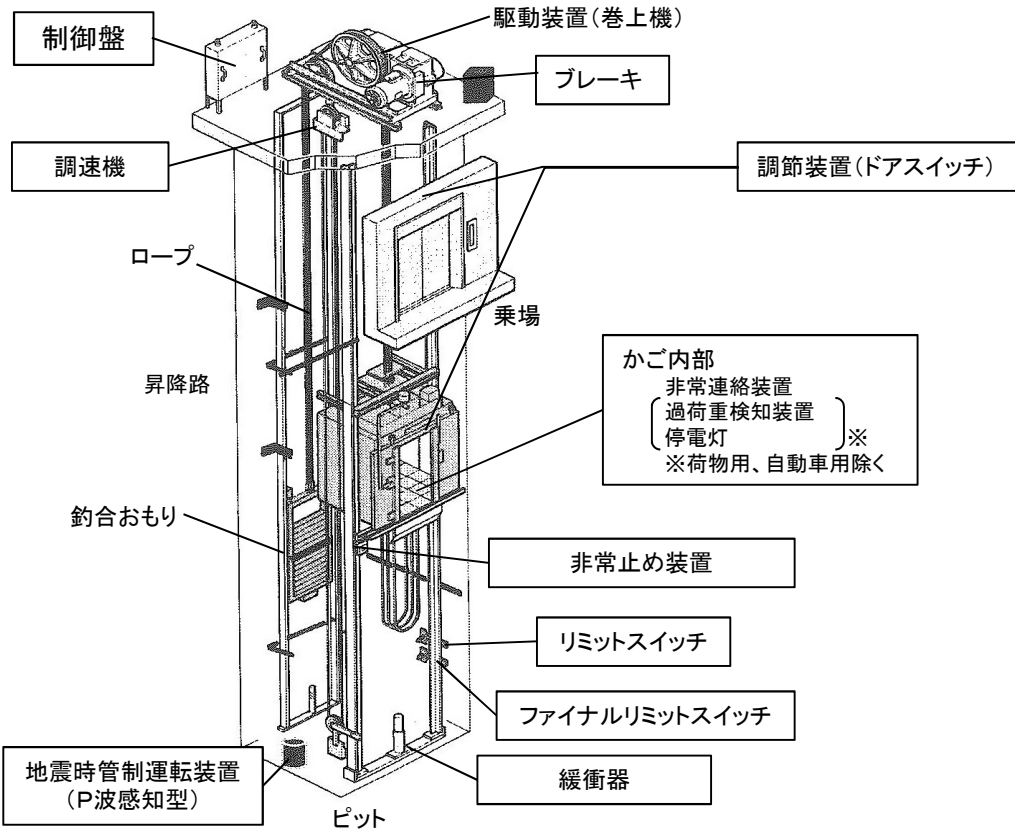
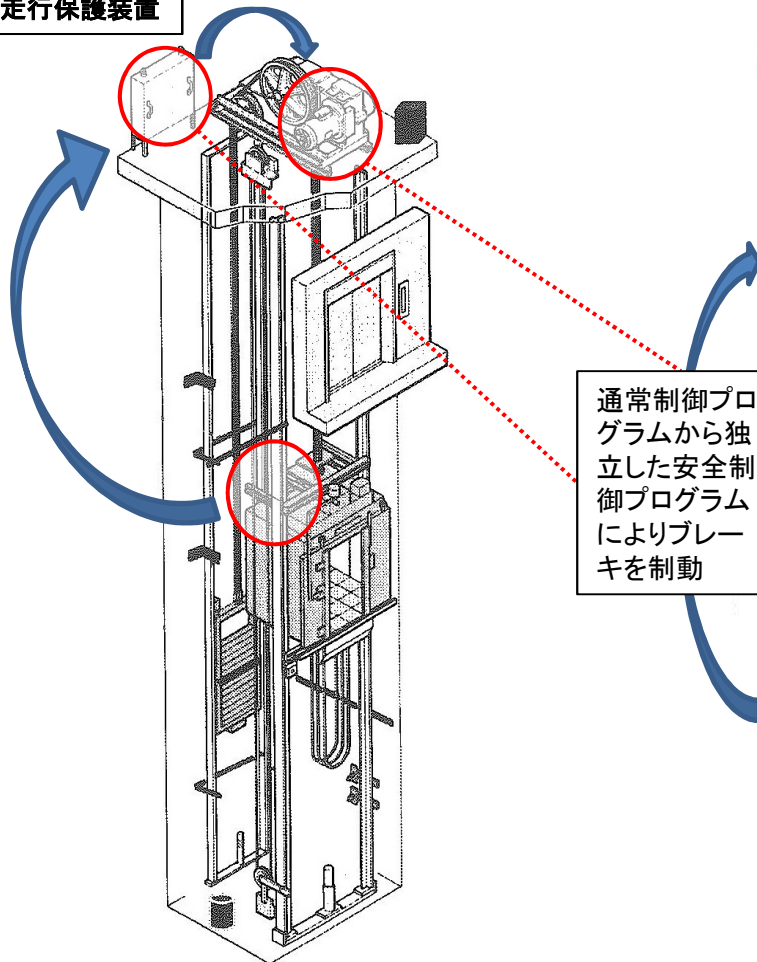


エレベーターの主な安全装置等（一般的な機械室ありロープ式エレベーターの場合）

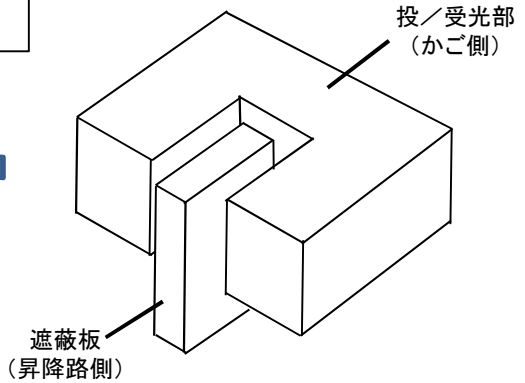
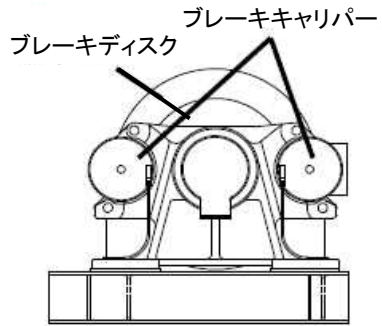
出典：一般社団法人日本エレベーター協会資料をもとに追記



戸開走行保護装置

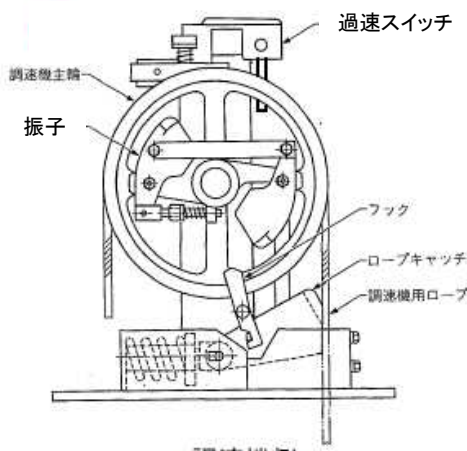
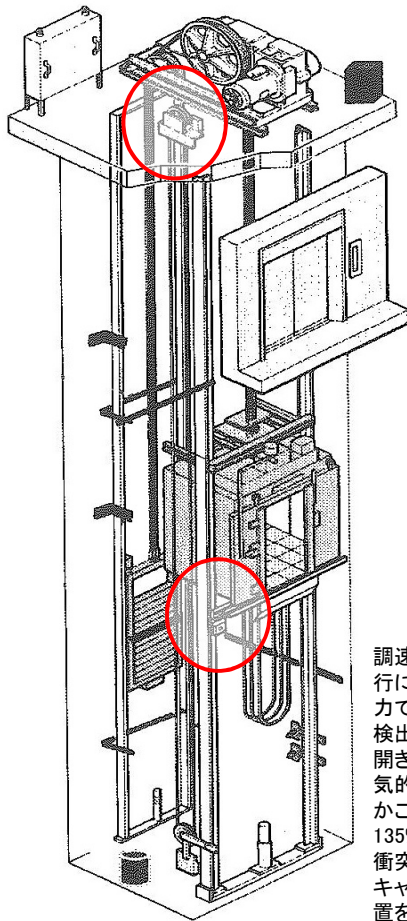


通常制御プログラムから独立した安全制御プログラムによりブレーキを制動



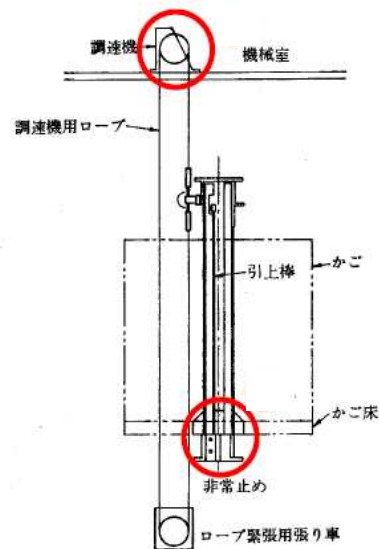
特定距離感知装置例（光電式）

# 調速機・非常止め装置

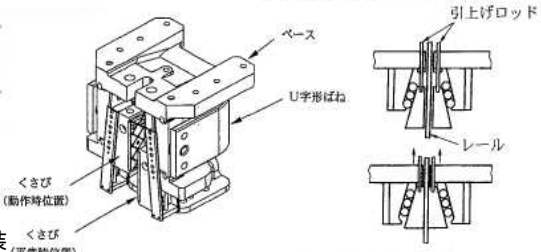


調速機例

調速機用ロープによって調速機主軸がかごの走行に同期して回転し、振子が支点を中心に遠心力で広がり、定格速度の概ね125%となると、過速検出スイッチが動作して電動機への電源回路を開き、制動装置(ブレーキ)を作動させ、かごを電氣的に停止させる。  
 かごが下降時にさらに過速し定格速度の概ね135%になると、振子はより大きく広がり、フックに衝突してロープキャッチ用のフックを外し、ロープキャッチが調速機用ロープをつかんで非常止め装置を作動させる。

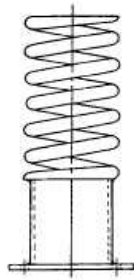
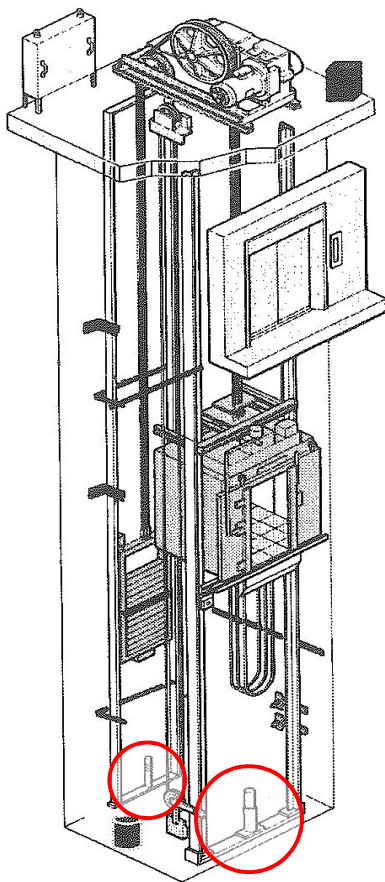


調速機と非常止めの結合

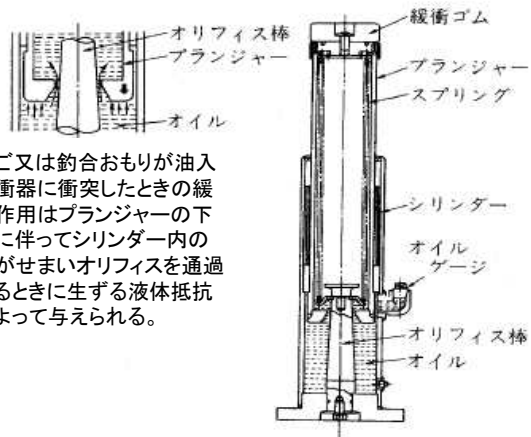


非常止め装置例

# 緩衝器



ばね緩衝器例



かご又は釣合おもりが油入緩衝器に衝突したときの緩衝作用はブランジャーの下降に伴ってシリンダー内の油がせまいオリフィスを通過するときに生ずる液体抵抗によって与えられる。

油入緩衝器例